

八百津町人権(人道)講演会

こぶしのつぼみと豆畑
朝に吹く風 南風
どこまで続く青い棚田
ふるさと ふるさと
あなたのふるさと
わたしのふるさと



第1部
朗読劇

千畝と幸子 命のビザ

千畝の生涯を妻幸子の視点で描いた感動の作品

出演 きらりの会 夏の会 きらり合唱隊
企画 和田義昭 構成 夏の会
演出 武馬美恵子 舞台監督 後藤光弘

第2部
講演



命のビザ -その今日的意義-

講師 外務省外交史料館 白石仁章氏

『人道の桜』大合唱

2017年12月16日(土)

当日先着
500名
限定

入場
無料

時間 午後1時開場 1時30分開演

会場 八百津町ファミリーセンター 大ホール
岐阜県加茂郡八百津町八百津3827-1

主催 八百津町青少年育成町民会議

【 第1部 朗読劇出演の会プロフィール 】

夏の会



夏の会は、1990年（平成2年）朗読劇『1945・ヒロシマ・ナガサキ・この子たちの夏』を上演するために集まった可児市帷子地区の母親の会から始まりました。それ以後毎年、市内の小中学校や公民館、岩倉市などで朗読劇や読み聞かせ活動等を行ってきました。また、可児市文化創造センターでの「音と灯りのうらおいコンサート 津軽三味線藤秋会」や名古屋市日本特殊陶業市民会館での「加藤流三絃道訓栄会 20周年記念講演 津軽の響き」において『仁太坊物語』を上演しました。こうした数々の功績が認められ、可児市教育委員会表彰や可児市青少年育成市民会議功労者表彰を受けました。現在も、可児市内小中学校や子育てサロン、図書館、公民館祭り等で広く読み聞かせ活動を行い、精力的に活動しています。

きらりの会

2015年（平成27年）、「きらりカフェの会」発足。この会は、「町内外の住民がきらりに集い、楽しみ、健康づくり、体力維持に努めるとともに交流を深め、楽しい生活の形成に寄与することを目的」として結成され、錦津地区の有志40余名で構成されています。講話や音楽を聴きながら、地域の方が交流を深める「きらりカフェ」（毎月1回開催）を企画から運営まで行うボランティア団体です。



この会から、杉原千畝氏の人道精神を地元から発信しようと朗読劇『千畝と幸子 命のビザ』が生まれ、可児市で朗読劇に取り組む「夏の会」と連携して上演するために、2016年7月「きらりの会」が立ち上がりました。

【 第2部 講演講師プロフィール 】

白石仁章（しらいし まさあき）



1963年（昭和38年）、東京都生まれ。外務省外交史料館課長補佐。日本ラトビア音楽協会会員。上智大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程単位取得満期退学。東京国際大学および慶應義塾大学大学院などで教鞭を執った経験を有する。専門は、日本外交史（特に対ロシア交渉史）。藤村道生や三輪公忠の門下で、特に杉原千畝研究は大学院在籍中からのテーマである。著書『諜報の天才 杉原千畝』（文庫版『杉原千畝 情報に賭けた外交官』）は、2015年12月5日公開の映画「杉原千畝」（主演：唐沢寿明）の参考資料とされた。

【お問い合わせ】 八百津町教育委員会 ☎ 0574-43-0390